

両沼地方稲作情報 第1号

令和6年3月14日

発行：福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店、(有)山一米穀店、
会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区



会津坂下農業普及所のHPでは、これまで発行した稲作情報を掲載しております。
その他、様々な情報を発信しておりますので、お気軽にご覧ください。

QRコード

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36243a/bangehukyu-9.html>

○丁寧な種子予措により良好な催芽種子を確保しましょう。

⚠浸種の水温や催芽機、ハウス内の温度管理を徹底しましょう。

⚠夜の過湿を避けるため、灌水は原則午前中に行いましょう。

⚠令和5年産種子は休眠が深い可能性があります。浸種や催芽では芽の動きをよく確認し、必要に応じて期間を延長しましょう。

⚠少雪による水不足が懸念されるため、畔塗りによる漏水対策を徹底しましょう。

1 気象情報（気象庁 東北地方 4月の気象（3か月予報より））

東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

2 健苗育成のポイント（種子予措～育苗）

(1) 塩水選（良い種子を選ぶ）

- ・収量、品質向上、病虫害防除の基本的な対策です。
- ・購入種子でも塩水選を実施します。

(2) 浸種

- ・水温は10～15℃とし、十分な水量を確保します。
- ・種子の発芽揃いを良くするため、積算水温（水温×日数）で100～120℃を目安に浸種を行います。
- ・酸欠防止のため、定期的（2日に1回程度）に水を交換します。

(3) 催芽

- ・温度は28℃とします。
- ・28℃以上では、もみ枯細菌病のリスクが増加します。
- ・休眠が深い種子もあるため、発芽状況をよく確認します。

(4) 播種

- ・発芽不良や覆土持ち上がりの恐れがあるため、覆土後は灌水しません。

(5) 出芽（育苗器）

- ・催芽と同様、温度は28℃とします。
- ・芽の伸びすぎに注意し、出芽率80～90%、芽の長さ5～10mmを目安に緑化へ移行します。

表1 塩水選用の塩水の作り方(水10ℓ当り)

	比重	食塩	硫酸(21%)
うるち	1.13	2.1kg	2.7kg
もち	1.10	1.6kg	2.0kg

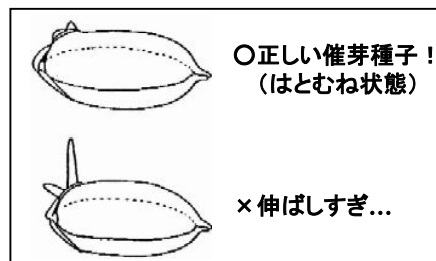


図1 正しいハト胸催芽もみ

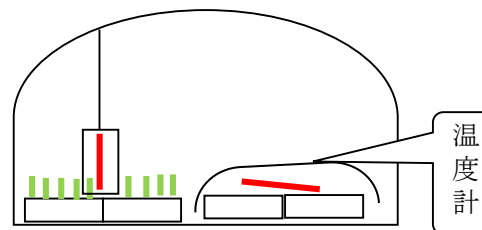
(6) 緑化(稚苗・施設内)

- ・緑化温度は日中25℃、夜間12~15℃、緑化期間は2~3日が目安です。
- ・粃が露出した場合は覆土の手直しをしましょう。
- ・28℃以上の高温や加湿を避け、強い光に急に当たらないように管理します。

(7) 硬化(稚苗・施設内)

- ・硬化温度は日中20℃、夜間10~15℃が目安です。
- ・灌水は1日1回午前を基本とし、午後の灌水は床土が乾燥しすぎている場合に行います。
- ・夕方以降の灌水は苗の軟弱徒長の原因になります。

温度計は苗と同じ高度の気温を測定します。



出芽までは被覆資材の中、出芽後は苗の高さに温度計を設置しましょう。

図2 育苗中の温度計の位置

⑨温度管理について

- ・古い催芽機では設定温度と実際の温度がズれる場合があります。使用前に温度計で確認しましょう。
- ・小さなハウスは室温が上昇しやすいため、小まめに温度管理を行きましょう。

3 ばか苗病防除のお願い

近年、ばか苗病の発生が拡大しています。会津坂下農業普及所管内では、県農業総合センター会津地域研究所で水稻の原種を生産するとともに、湯川村で生産者へ供給される種子を生産しています。ばか苗病の蔓延は種子生産に深刻な影響を及ぼし、ひいては県内全ての水稻生産者への種子供給に支障が生じます。以下の点に留意し、適切なばか苗病防除をお願いします。

(1) 種子の適切な管理

- ・消毒済み種子を使用、または適切な種子消毒を必ず行ってください。
- ・塩水選を実施してください。
- ・種粃の床へのべた置きは避け、伝染源となる稲わら、粃殻、粉塵等を除去してください。
- ・前年にばか苗病が発生した場合は、あらかじめ育苗箱や育苗器等の洗浄・消毒を実施してください。

(2) 育苗時の管理

- ・ばか苗は、育苗の中~後期になると葉身が徒長し黄化します。
- ・発見した場合は、株ごと抜き取るか、箱ごと廃棄してください。
- ・抜き取った罹病苗も感染源となるため、土中に埋却する等、適切に処分し、ハウスやほ場内に放置しない。

(3) その他

- ・罹病苗を本田に移植すると、ほとんどは枯死しますが、一部は生存します。
- ・罹病株からばか苗病菌の胞子が数百メートル以上飛散し、汚染源となります。
- ・本田での汚染を防ぐため、種子予措から育苗の段階で適切に防除してください。



図3 ばか苗病(育苗時)



図4 ばか苗病(本田)

○農薬はラベル等を確認し、適切に使用してください

○通水のために水路の土砂上げ、草刈り、ビニールゴミ等の撤去をお願いします。

○農業保険に加入しましょう。

農作業安全運動実施中!

4/1~5/31

安全な農作業を
心掛けよう!

